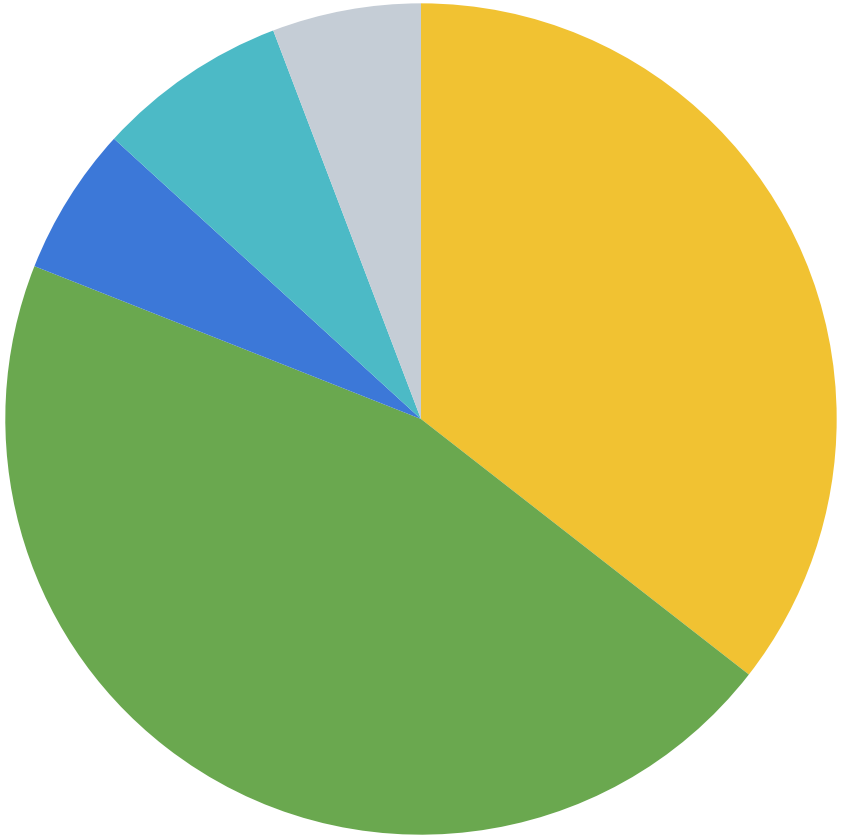
回答者の年齢

20～24歳が45.5%で最多。16～24歳が全体の81.0%を占める。

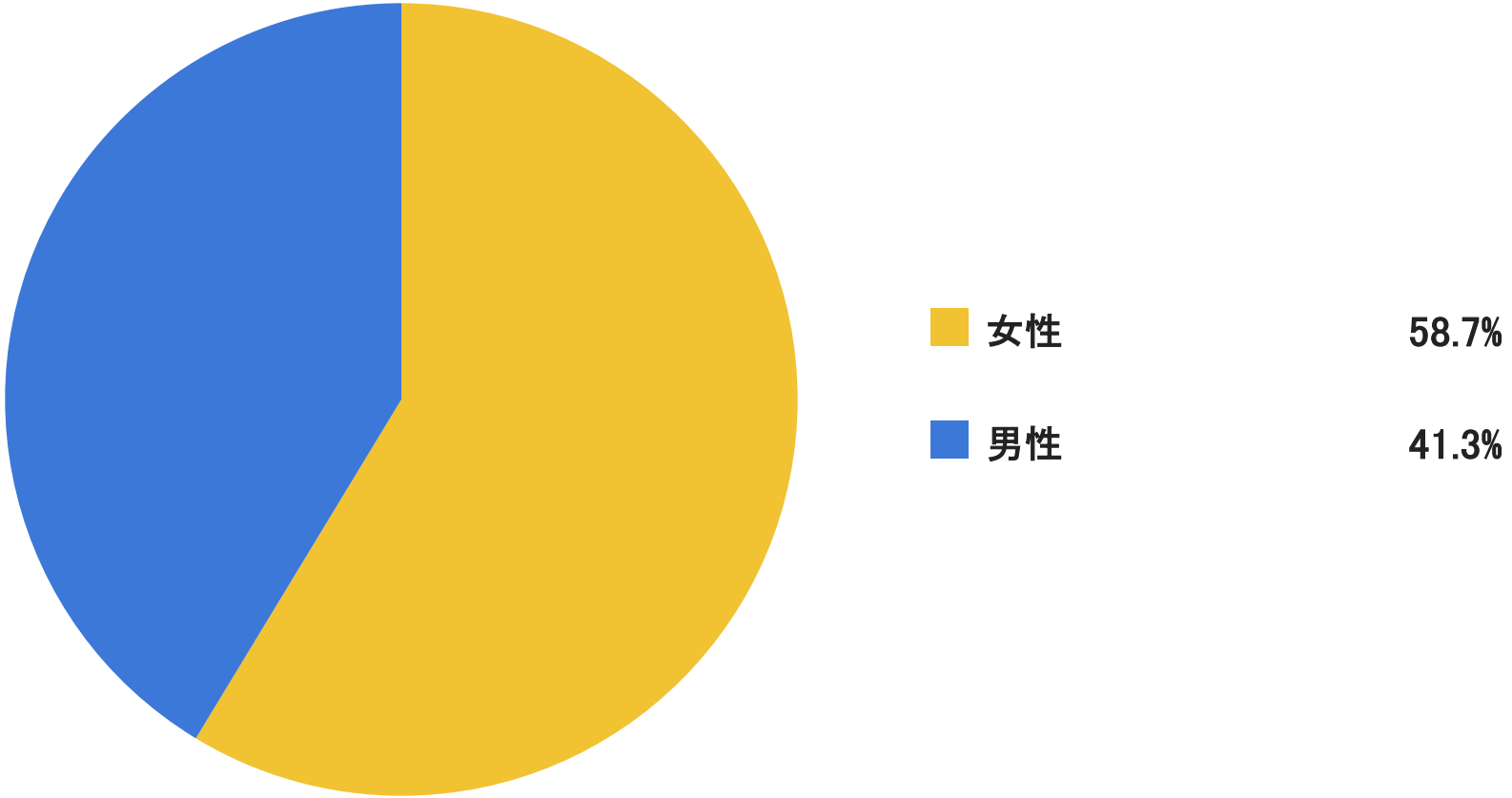


16～19歳	35.5%
20～24歳	45.5%
25～29歳	5.8%
30歳以上	7.4%
不明	5.8%

n=121（年齢未記入7件を含む）

回答者の性別

女性が58.7%、男性が41.3%を占める。

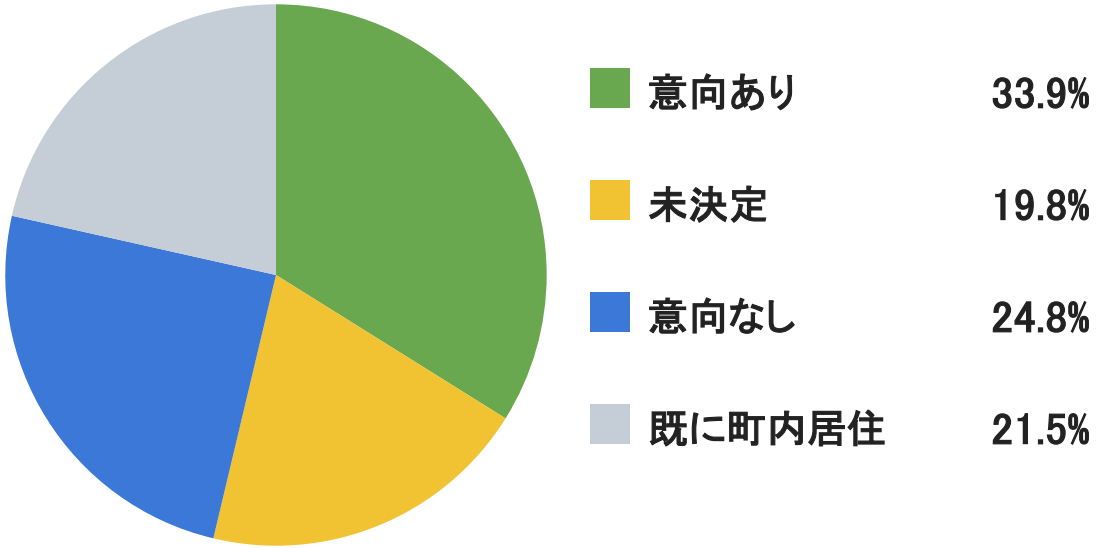


n=121

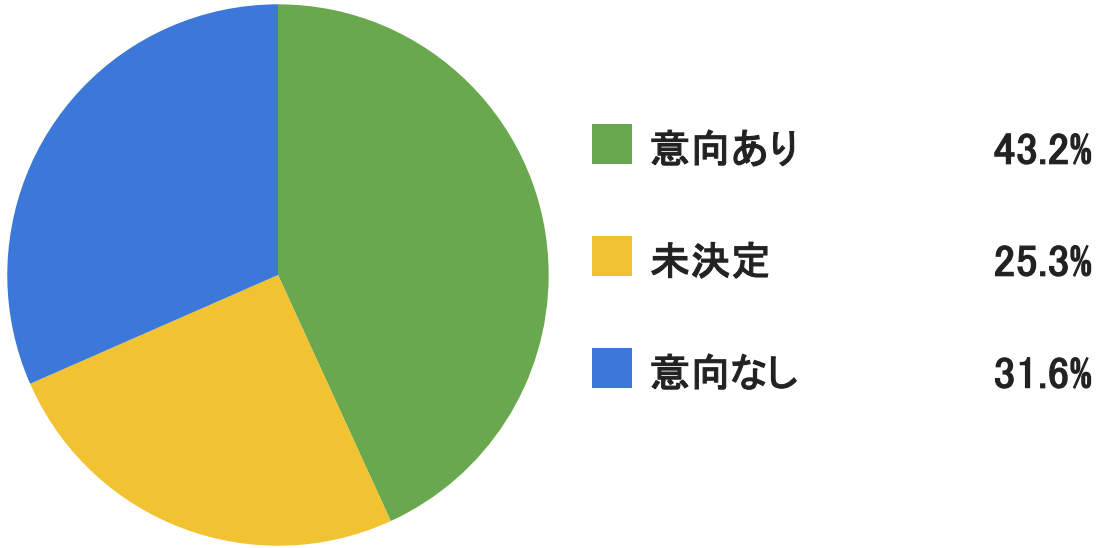
Uターン意向

町内居住者を除くと、43.2%にUターン意向があり、25.3%は未決定。

全体（n=121）



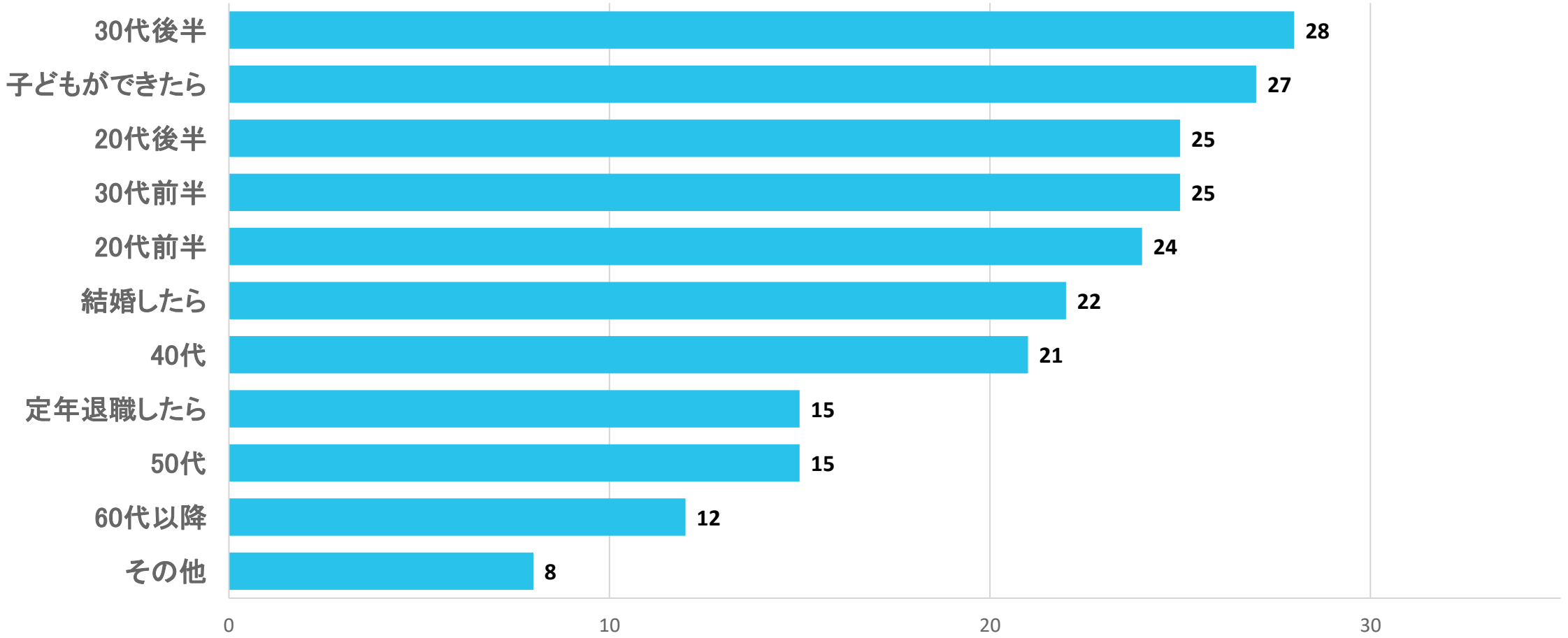
町内居住者を除く（n=95）



意向あり＝「はい」「どちらかと言えばはい」 ／ 意向なし＝「いいえ」「どちらかと言えばいいえ」

帰郷を考えるライフステージ（複数回答）

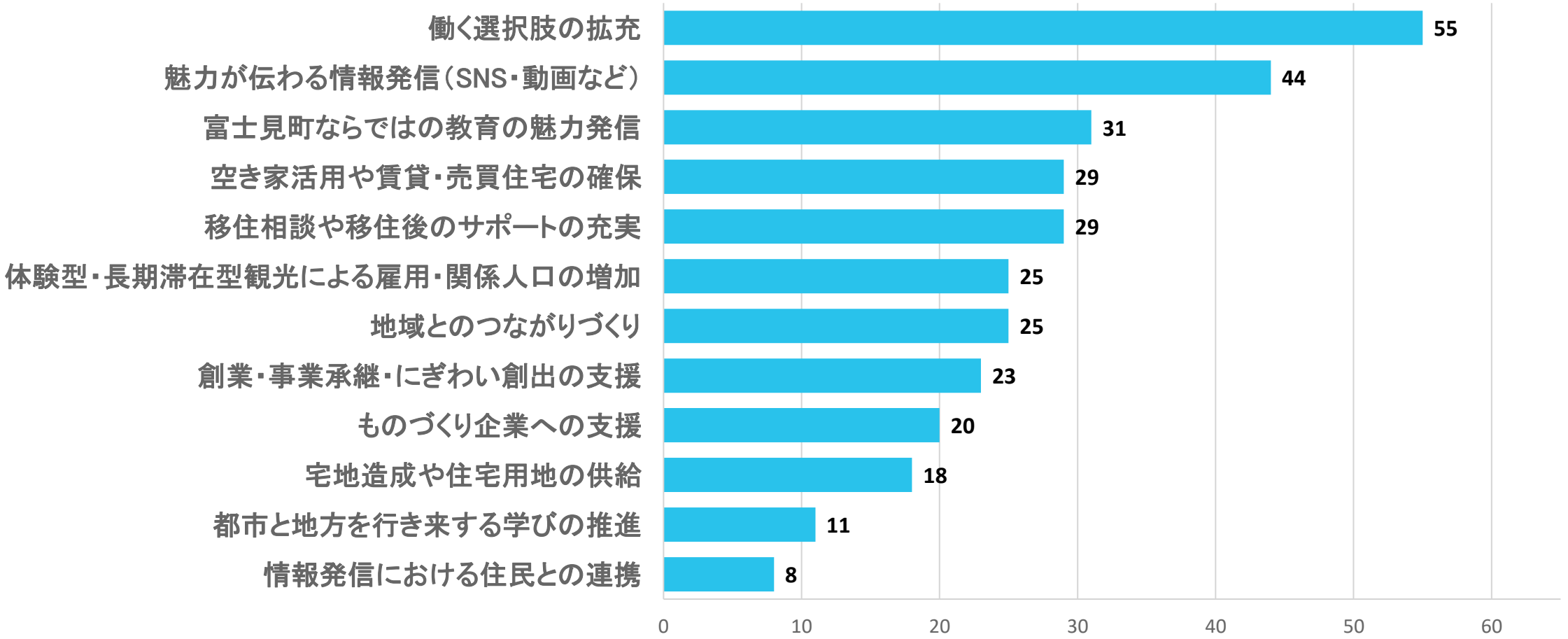
「30代後半」が28人で最多。「子どもができたら」が27人で続く。



n=107 ｜ 単位：人

重要だと思う取り組み（複数回答）

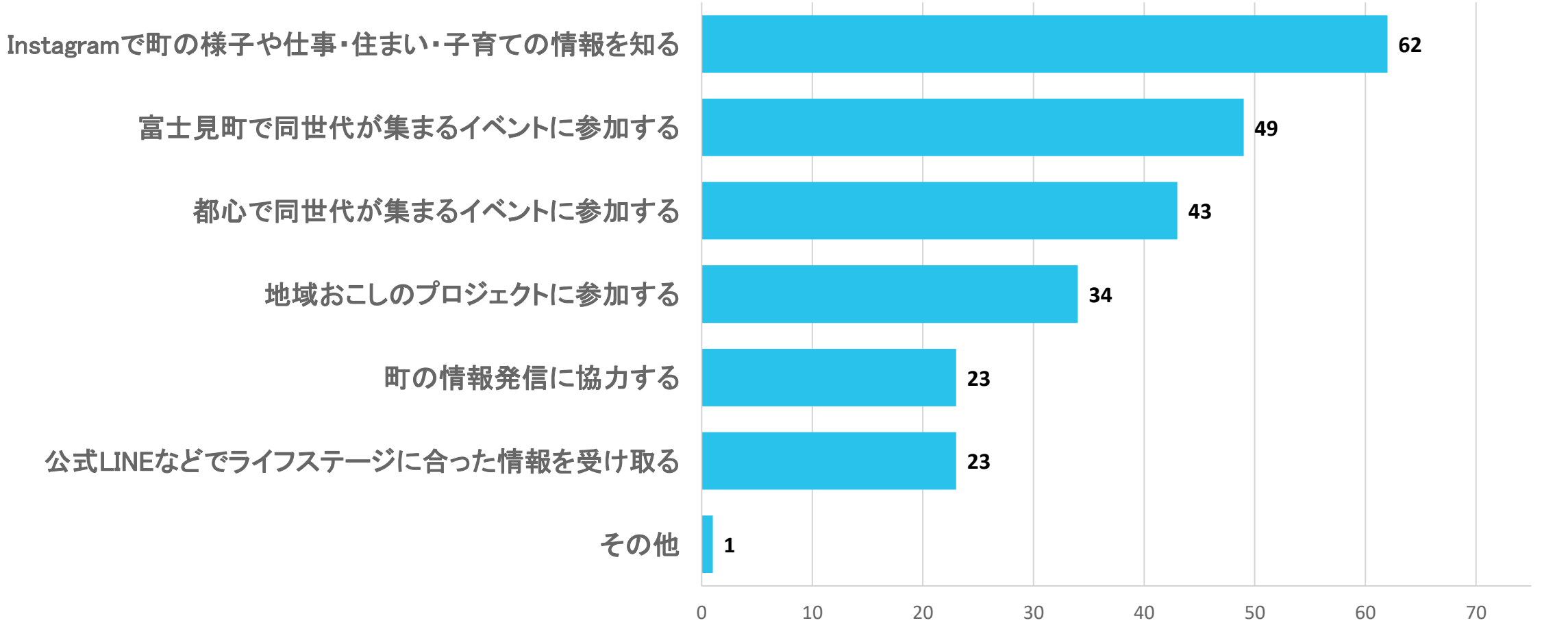
「働く選択肢の拡充」が55人で最多。次いで「魅力が伝わる情報発信」が44人。



n=120 ｜ 単位：人

興味のある取り組み（複数回答）

Instagramで町の情報を得ることが最多。同世代と集まるイベントにも関心が寄せられた。



n=106 ｜ 単位：人

自由記述から見える重要事項

地元への愛着とともに、仕事や住まい、日常の過ごし方に関する具体的な声が寄せられた。

仕事・キャリア

希望する職種の就職先が少ない。
フリーランスとして働けるなら
帰郷も考えたい。

住まいの選択肢

空き家の賃貸・売買に加え、
若い世代が新築できる宅地や
借りやすい住宅を増やしてほしい。

自然と子育て

自然に触れて育った経験から、
自分の子どもも同じような環境で
育てたい。

店・遊び場・交通

町内で過ごせる店や遊び場を
増やしてほしい。駅のエレベーター
やバスの改善を求める声もある。

同世代とのつながり

町外に住む人も年に一度
集まれる場や、若者の声を
直接聞く機会がほしい。

町の魅力を伝える

自然や風景をSNSの動画で発信し、
学校では富士見ならではの歴史を
もっと学べるようにしてほしい。

Uターン意向・帰郷時期の理由、取組アイデア、自由意見から抜粋・要約